

科目名	歴史 I History I			担当教員	石丸 健 (窓口教員：河野通弘)		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	14120003	単位区別	履修単位
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質及び人類の課題を広い視野から多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。また、学習教育目標である「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を、授業を通して培っていく。						
進め方	基本的に講義形式で進めるが、「ノートを取って、暗記する」だけの受動的な学習方法では試験に対応することはできない。学生諸君には、授業への積極的な参加を要求する。また、史料や絵画など多様な文献を読み解くことを通じて思考力を養い、音楽・映像教材などを用いて授業の理解を深めてもらう。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. 近代以前の世界 (15) (1) 古代オリエント世界 (2) 地中海世界の形成と展開 (3) 南アジア世界の形成 (4) 東アジア世界の形成と発展 (5) ヨーロッパ世界の形成と展開 [前期中間試験] (2)			諸民族の興亡を軸に、オリエント文明の概要を理解し、ギリシャ、ローマの政治社会制度と文化についての基礎的な事項が理解できている。古代インド起源諸宗教と中国文明の成立と歴代王朝の興亡について基本的事項が理解できている。西欧封建社会の成立と崩壊の要因を理解し説明できる。 学習・教育目標：(A)			
	2. 近代社会の成立と展開 (15) (1) ヨーロッパ近代への転換 (2) 近代市民社会への胎動 (3) 近代市民社会の成立 (4) 19世紀のヨーロッパ 前期末試験			ルネサンス、宗教改革、大航海の基本的事項とその意義が理解できている。絶対主義時代の西欧諸国家の動向の概要が理解できている。産業革命と資本主義の確立について基本的事項が理解できている。フランス革命とウィーン体制下のヨーロッパについて概要が理解できている。 学習・教育目標：(A)			
	3. 19世紀のアジア・アフリカと帝国主義の時代 (15) (1) 列強のアフリカ分割と南アジアの植民地化 (2) ヨーロッパ列強の中国進出 (3) 列強の中国侵略と中国の抵抗 (4) 日英同盟と日露戦争 (5) 第一次世界大戦 [後期中間試験] (2)			列強のアフリカ分割と南アジアの植民地化について概要が理解できている。列強の中国侵略と中国の抵抗について、日本の近代化とも関連づけて理解できている。帝国主義列強の対立(同盟、協商関係構築)という背景を理解したうえで、日露戦争や第一次世界大戦についてその概要を説明できる。 学習・教育目標：(A)			
	4. 大戦間の時代と第二次世界大戦後の世界 (15) (1) ヴェルサイユ体制 (2) ファシズムの台頭と第二次世界大戦 (3) 戦後処理と冷戦の展開 (4) 冷戦の終結と地域紛争の動向 後期末試験 試験返却(1)			ヴェルサイユ体制とその崩壊、ファシズムの台頭と第二次世界大戦の概要を、日本の国際社会への登場と敗退という観点も含めて理解できている。戦後処理と冷戦の展開を、特に東アジアの現状と関連づけて理解できている。冷戦終結の過程の概要とその後の地域紛争の概要が理解できている。 学習・教育目標：(A)			
	定期試験を主たる評価とする。(95%程度) 意見発表など積極的に授業参加した者に対しては評価をする。(5%程度)						
履修要件	特になし。						
関連科目	歴史Ⅰ(1年) → 歴史Ⅱ(2年) → 人文科学Ⅲ(4年)						
教材	教科書：北村正義編『新編 世界の歴史』(学術図書出版)、資料集：『世界史タペストリー』(帝国書院)。その他参考図書を随時紹介する。						
備考	・単位追認試験は次年度の9月(前期範囲)と1月(後期範囲)に実施する。						